

呉市復興計画に基づく実施事業について

呉市復興計画（以下「復興計画」といいます。）に基づく実施事業について、計画期間の最終年度である令和6年度末（令和7年3月末日）時点における状況を報告します。

全事業（174事業）のうち、復旧事業（49事業）は、令和5年度末で全て完了しています。

今後も見守り支援やインフラの強靱化など、現在実施中の継続事業については、復興計画期間終了後も「災害に強い幸せで魅力的な都市」の実現を目指し、事業を進めていきます。

1 復興計画における各事業の進捗状況

【基本方針】	【施策】	【事業数】				
		新規	継続	ほぼ完了	完了	合計
1 住まいと暮らしの再建	(1) 被災者支援	0	3	4	18	25
	(2) 子ども・子育て支援	0	1	0	10	11
	(3) 廃棄物・土砂処理	0	0	0	7	7
2 災害に強い 安全・安心なまちづくり	(1) 土木施設等の強靱化 ^{じん}	0	21	1	19	41
	(2) 公共施設等の強靱化	0	3	1	12	16
	(3) 上下水道施設の強靱化	0	2	2	6	10
	(4) 交通基盤の強靱化	0	5	0	0	5
3 産業・経済の復興	(1) 地域産業の復旧・復興	0	8	0	13	21
4 今後の防災・減災に向けた取組	(1) 防災・減災に向けた体制の強化	0	16	12	10	38
	合計	0	59	20	95	174
		(呉市復興計画に基づく主な実施事業を計上：令和6年度末時点)				
	(参考) 令和5年度末時点	0	65	18	91	174

2 これまで取り組んできた各基本方針における主な取組

【基本方針】	【主な取組】	【総事業費】
1 住まいと暮らしの再建	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による健康相談や戸別訪問 ・被災住宅の応急修理や災害公営住宅の整備 ・市税や保険料などの各種減免 ・スクールカウンセラーの派遣による児童・生徒の心のケア ・半壊以上の被災家屋の公費撤去や被災家屋及び土砂混じりがれきの撤去に関する費用償還 など 	約156.7億円 (約17.0億円)
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や橋りょう，河川など土木施設等の復旧・強化 ・農道や農地，漁港など農林水産業基盤施設の復旧・強化 ・天応中学校の仮移転の解消（義務教育学校の整備） ・水道施設や工業用水道施設，下水道施設など上下水道施設の復旧・強化 ・広島呉道路の強靱化（4車線化整備）や呉駅周辺地域総合開発の推進 など 	約559.1億円 (約79.2億円)
3 産業・経済の復興	<ul style="list-style-type: none"> ・国のグループ補助金や持続化補助金の活用支援 ・セーフティネット保証4号認定等の交付 ・被災農業者向け経営体育成支援 ・観光復興イベント等の開催による誘客促進 ・水産多面的機能発揮対策に関する取組への支援 など 	約18.7億円 (約3.7億円)
4 今後の防災・減災に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報伝達方法の強化や伝達情報の多言語化 ・土砂災害発生地域における避難情報の早期発令の運用 ・備蓄品目の充実や避難所の環境（設備）改善 ・避難行動要支援者への支援体制の整備 ・豪雨災害記録誌の作成や被災状況や復興状況等が分かるウェブサイトの構築 など 	約57.3億円 (約11.0億円)
合計		約791.8億円 (約110.9億円)

※総事業費におけるカッコ内の数字は一般財源の額

3 各基本方針における今後の取組

【基本方針】	【今後の取組】	【継続事業】
1 住まいと暮らしの再建	<p>現在も、保健師等による健康相談や戸別訪問などの見守りや、心のケア等を継続しています。 引き続き、被災者に寄り添い、一人一人の状況に応じて、きめ細かな支援を実施します。</p>	4
2 災害に強い安全・安心なまちづくり	<p>復旧事業については、令和5年度末に全て完了しましたが、インフラの強靱化は、今後も実施していく必要があります。 国や県、関係機関と連携を深めながら災害に強い安全・安心なまちになるよう着実に取り組んでいきます。</p>	31
3 産業・経済の復興	<p>地域の産業・経済が今以上に活力あふれるものになるよう、今後も呉市企業立地条例（昭和56年呉市条例第10号）に基づく助成制度を中心に企業の誘致・留置を進めるとともに、観光を基幹産業の一つにしていくなど、にぎわいを創出するための取組を進めていきます。</p>	8
4 今後の防災・減災に向けた取組	<p>地域の実情に合った避難所の在り方や避難情報等の伝達方法の見直しを今後も随時進めていきます。 また、この災害での経験を風化させることなく、未来へ継承していく取組を進めていくことで、市民の防災意識の向上を図っていきます。</p>	16
		<p>合計</p> <p>59</p>

見守り支援やインフラの強靱化など、現在実施中の継続事業については、復興計画期間終了後も「災害に強い幸せで魅力的な都市」の実現を目指し、事業を進めていきます。